

JAとうと 自己改革レポート

JAとうとは、地域農業・地域を支える役割を担うよう、自己改革を進めています。ここに、その取り組み内容の一部をご紹介します。



「農業者の所得増大の実現」

■対話運動でニーズに対応

当JA常勤役員や営農、金融担当の職員が担い手農家を訪問して、栽培方法の提案や補助金活用の相談などを行い、総合事業提案活動に取り組んでいます。

■おいしいお米づくりと収量の確保

担い手農家を対象に食味検査や土壌診断調査による適正な施肥や栽培方法を提供して、おいしいお米づくりと収量の確保に向けて取り組んでいます。



▲担い手農家訪問



▲野菜づくり塾

■出荷者の育成

県農林事務所の協力を得ながら、地元直売所への出荷者の確保と育成のために「野菜づくり塾」を開講して、野菜づくりに関する知識や技術の研修を行っています。

「協同による地域の活性化への貢献」

■地域の食と農をつなぐ地産地消の促進

地域で生産された農畜産物を地域で消費することを通じて、消費者と生産者の距離を縮める取り組みを進めるとともに、地元産米の消費拡大に向けて、ふれあいパーク浅野や多治見営農センターなどで販売促進活動を行っています。



▲ふれあいパーク浅野

■地域貢献活動

- 地元3市および各種団体への寄付金協力
- 公共福祉施設への精米寄贈
- こども食堂への運営費支援
- 管内小学校への児童向け農業雑誌「ちゃぐりん」寄贈

- 地域防犯、高齢者・こども見守り活動
- 交通安全メッセンジャーによる啓発活動
- 献血活動
- 地域イベントへの支店職員参画



▲こども食堂



▲特殊詐欺防止啓発活動



▲小学生の町探検授業